

居酒屋ぼったくり 11

著者名：秋川滝美
出版者：アルファポリス

リクエスト
ありがとうございます
ございます

東京下町にひっそりとある、居酒屋「ぼったくり」。名に似合わずお得なその店には、旨い酒と美味しい料理、そして今時珍しい義理人情がある。旨いものと人々のふれあいを描いた短編連作小説、感動の最終巻！全国の銘酒情報、簡単かつまみの作り方も満載！

刀と傘 明治京洛推理帖

著者名：伊吹亜門
出版者：東京創元社

リクエスト
ありがとうございます
ございます

維新に揺れる明治の京。奇怪な謎に挑むのは、尾張出身の若き武士と初代司法卿江藤新平。死刑執行当日、なぜ囚人は毒殺されたのか？第12回ミステリーズ！新人賞受賞作「監獄舎の殺人」に連なる時代本格推理、堂々登場。

女の偏差値

著者名：林真理子
出版者：マガジンハウス

お待たせしました！「美女入門」シリーズ、パート17発売です。2017年11月から2019年2月までの、「anan」好評連載を収録。大河ドラマ「西郷どん」が放映され、いつにも増して華やかに過ごした1年間。日経新聞連載の官能的な小説『愉楽にて』も話題になり、秋には紫綬褒章も受賞。大活躍マリコさんの幸せをおすそ分け！

市原悦子ことばの宝物

著者名：市原悦子
出版者：主婦の友社

「欲張らずに、コツコツとやってけばいいのよ、きっと」市原さんが贈る、のびのび生きるためのメッセージ。

暁天の星

著者名：葉室麟
出版者：PHP研究所

葉室麟が最期に「書かねばならない」と挑んだテーマとは。不平等条約の改正に尽力した明治政府の外相・陸奥宗光を描いた未完の大作

しあわせしりとり

著者名：益田ミリ
出版者：ミシマ社

リクエスト
ありがとうございます
ございます

各エッセイのタイトルでしりとり！子供の頃の思い出、見ることのない未来、こぼれ落ちる日々…あんなこと、こんなことが、しりとりのように連鎖する。

彼女たちの場合は

著者名：江國香織
出版者：集英社

リクエスト
ありがとうございます
ございます

「これは家出ではないので心配しないでね」14歳と17歳。少女は二人きりで“アメリカを見る”旅に出た。

森瑤子の帽子

著者名：島崎今日子
出版者：幻冬舎

リクエスト
ありがとうございます
ございます

よき妻、よき母、よき主婦像に縛られながらもスノッブな女として生きた作家・森瑤子。彼女は果たして何のために書き続けたのか。五木寛之、大宅映子、北方謙三、近藤正臣、山田詠美ほか数多の証言から、成功を手にした女の煌めきと孤独、そして森瑤子が駆け抜けた日本のバブル時代を照射する渾身のノンフィクション。

科学する心

著者名：池澤夏樹
出版者：集英社インターナショナル

大学で物理学科に籍を置いたこともある著者は、これまでも折に触れ、自らの作品に科学的題材を織り込んできた。いわば「科学する心」とでも呼ぶべきものを持ち続けた作家が、最先端の人工知能から、進化論、永遠と無限、失われつつある日常の科学などを、「文学的まなざし」を保ちつつ考察する科学エッセイ。

むらさきのスカートの女

著者名：今村 夏子
出版者：朝日新聞出版

近所に住む「むらさきのスカートの女」と呼ばれる女性が気になって仕方のない〈わたし〉は、彼女と「ともだち」になるために、自分と同じ職場で彼女が働きだすよう誘導する。『あひる』『星の子』が芥川賞候補となった話題の著者による待望の最新作。

百花

著者名：川村元気
出版者：文藝春秋

「あなたは誰？」息子を忘れていく母と、母との思い出を蘇らせていく息子。人生百年時代に光を投げかける、愛と記憶の物語

おしりたんてい かいとうとねらわれたはなよめ

著者名：トロル
出版者：ポプラ社

おしりたんていの事務所に、とつぜんあらわれたなぞのいらいにん。だが、そのしょうたいをたちどころに見抜いたわれらがおしりたんてい。なぞの依頼人が持ち込んだのは、なんとかいとうUからの予告状だった！いにしえからの、けっこんの儀式にかくされたお宝をかいとうUからまもるため、今回もおしりたんていの名推理が冴えわたる。迷路や、絵探しなど、おしりたんていといっしょに謎を解きながら、真実にせまる、本格的推理読み物シリーズです。今回も、「かいとうとねらわれたはなよめ」「おりのなかのけいかく」の2話収録。何度読んでも発見がある推理小説の入り口にも最適な知的好奇心をくすぐる1冊です。

チックタック 約束の時計台

著者名：にしのあきひろ
出版者：幻冬舎

にしのあきひろ作品史上、もっとも残酷で、もっとも美しい物語。こわれていないのに11時59分で止まっているふしぎな時計台がありました——。【物語】町のはずれにあるホテルの森の中に、こわれていないのに11時50分で止まっているふしぎな時計台があります。その時計台には、ヘンクツジジイのチックタックが住んでいます。もう何年もまえ、チックタックがもっと若かった頃、ここに、ある孤児の女の子が訪ねてくるようになりました。彼女の名前はニーナ。チックタックとニーナは、夜12時の鐘の音を、いっしょにこの時計台で聞くことを約束します。しかし、その約束がかなうことはありませんでした。なぜなら、その森に「火の鳥」がやってきたからです。

教室はまちがうところだ

著者名：蒔田晋治
出版者：子どもの未来社



おんなじことをくりかえすうちに、それからだんだんどきりがやんで、言いたいことが言えてくるのだ。はじめからうまいこと言えるはずないんだ。はじめから答えがあたるはずないんだ。

すきっていわなきゃだめ？

著者名：辻村深月
出版者：岩崎書店

嬉しくて悲しくて苦しいこの気持ち「好き」でいい？

ころべばいいのに

著者名：ヨシタケシンスケ
出版者：ブロンズ新社

発想えほん第4弾。きれいな人がいてもいいんじゃない！ヨシタケシンスケ流ころべの処方箋。イヤな気持ちって、自分ではどうしようもないどしゃぶりの雨のようなもの。そんなときはね・・・！

大家さんと僕

著者名：矢部太郎
出版者：新潮社



1階には大家のおばあさん、2階にはトホホな芸人の僕。挨拶は「ごきげんよう」、好きなタイプはマッカーサー元帥（渋い！）、牛丼もハンバーガーも食べたことがなく、僕を俳優と勘違いしている……。一緒に旅行するほど仲良くなった大家さんとの“二人暮らし”がずっと続けばいい、そう思っていた——。泣き笑い、奇跡の実話漫画。